

(翻訳) INFO 203-01,-02,-03,-12,-15,-18 オンライン学習
達成のための手段と戦略 2017年秋学期シラバス

[Runnels, Cindy; and Debbie Faires]

“INFO 203-01, -02, -03, -12, -15, -18 ONLINE LEARNING: TOOLS AND
STRATEGIES FOR SUCCESS FALL 2017 SYLLABUS,” [2017].

<http://ischoolapps.sjsu.edu/gss/ajax/showSheet.php?id=7531>,
(参照2018-03-30).

東山 由依 (文学部文学科日本文学専修)

シンディ・ラネルズ

<https://ischoolapps.sjsu.edu/facultypages/view.php?fac=runnelsc>

E-mail :

<https://ischoolapps.sjsu.edu/email/email.php?fname=Cindy&lname=Runnels>

オフィスアワー：予約をすれば利用可能

BbIM (Blackboard Instant Message): Cindy.Runnels

デビー・フェアズ

<http://ischoolapps.sjsu.edu/facultypages/view.php?fac=fairesd>

E-mail :

<http://ischoolapps.sjsu.edu/email/email.php?fname=Debbie&lname=Faires>

研究室：418-A Clark Hall, SJSU

オフィスアワー：メール経由で利用可能

電話番号：408-924-2498

BbIM (Blackboard Instant Message): Debbie.Faires

シラバスのリンク (訳者注：シラバス内の該当箇所に飛ぶリンク)

教科書

学習の成果

中心となる能力

履修要件

情報源 (訳者注：シラバス外の該当箇所に飛ぶリンクのため、リンク先を明示した。)

Canvas ログイン、個別指導 (<http://ischoolapps.sjsu.edu/canvas/>)

iSchool イーブック・ストア

(<http://ischoolapps.sjsu.edu/gss/textbooks/ebookstore.php>)

Canvas の情報：受講生は 8 月 2 日に e-mail で科目案内を受け取り、Canvas 内で科目の web サイトが使用可能になる。準備のための情報は MySJSU を通して 7 月 31 日に送られる。

Canvas サイトには自動的に登録される。

科目概要

本科目は、学生たちに今日のオンライン環境に見られる、新しく開発されつつあるテクノロジーの利用における多様で有効な戦略を紹介する。学習管理ツール、web 会議、ソーシャル・ソフトウェア、大学が提供する情報資源、新入生たちにとって最重要なものとしてされてきているそのほかのテーマを扱う。

本科目の単位取得条件

本科目のスケジュール

本科目は完全にオンライン環境で開講され、同期型、または非同期型で行う活動を含む。本科目のサイトは 8 月 2 日に公開される。本科目の学習を始めたい学生は、その日から始めてよい。早めの受講開始と履修の修了を強く勧める。早くに始めることができない学生は、すべての科目が正式に始まるときに受講を開始してもよい（8 月 23 日）。

科目に関する主要な締め切り：

- 8 月 31 日：モジュール課題 1,2,3 の提出期限
 - 共同作業グループ（モジュール 5）への登録は完了させなければならない。
- 9 月 7 日：
 - 協働学習（モジュール 4）への登録は完了させなければならない。
 - 課題の完成のために、すべてのチームメンバー（モジュール 5）は情報を共有しあい、計画を立てる（例：話し合いの日時を設定する）。
 - モジュール 6 課題（King Library）の提出期限
- 9 月 14 日：モジュール 7 課題（APA スタイル：アメリカ心理学会が定める論文の書式）の提出期限
- 9 月 20 日：残りすべての課題（モジュール 4,5,8,9）は完成させなければならない。遅れての課題提出は認められない。

科目の課題の詳細

ひとつの科目が 9 つのモジュールで構成されている。本科目が合否判定の科目（CR/NC）なので、課題の内容は、さまざまな学習環境での能力の証明と、読書課題や教員が取りあげられた質問に関連するディスカッションへの参加で構成されている。各モジュールは、それと対応する“科目学習の成果”（CLO）に対応している。

- 学習管理システム（CLO#2 に対応）

学生は Canvas 学習システム内で作業し、以下のことを行う。

 - この学習管理システムの使い方について Canvas 個別指導を利用する。
 - 投稿や返信を読んだり適切に参加したりするディスカッションエリアを利用する。
 - 科目の履修者一覧にアクセスする。
 - メールアドレスやパスワードのような嗜好情報を更新する。
 - メッセージツールを使いながら科目内のほかの学生にメッセージを送り、このツールに関連する作法を理解する。
 - 課題を提出する。
 - 教員から返却された成績、コメント、ファイルにアクセスする。

- ソーシャルネットワーキングプラットフォームと原理 (CLO#1 に対応)
 学生はソーシャルネットワーキングの原理を学び、以下のことを行う。
 - iSchool の WordPress サーバーにブログを開設し、記事を書く (ハイパーリンクを含む)、ほかの学生の投稿に返信をする、ブログのリンクや特定の投稿、ブログの RSS フィードを確認する。
 - さまざまなソーシャルネットワーキングプラットフォームを調査する (任意参加)。
 - 協働のオンライン環境である Google Docs に参加できるようにアカウントを作る。

- テクノロジーツールとリテラシー (CLO#1、CLO#4 に対応)
 学生は以下のことを行う。
 - iSchool のテクノロジーの基準を満たしている、もしくは上回るようなコンピュータハードウェアやアプリケーションソフトウェアを持っているかを確認する。
 - 必要とされるテクノロジーリテラシースキルがあることを示す。
 - 制限された資料にログインすることによって保護された情報資源にアクセスする。
 - ワードや PDF ファイルを開く。

- Web 会議：ブラックボード協働学習 (CLO#3 に対応)
 学生は実況の学習会議に確実に接続し、以下のことを行う。
 - 交流するための音声ツールを使う。
 - 以下のツールを使う：オンライン上のマイク、挙手、チャット、顔文字、投票、選択されたホワイトボードの道具
 - グループで話し合うためにブラックボード協働学習内の学生室の使い方を学ぶ。

- 個人的技能 (CLO#4 に対応)
 学生は以下のことを行う。
 - オンライン学習のために個人で準備ができているかを確認する。
 - オンライン学習の学生として達成するために必要な個人的技能を理解する。
 - チームでの協働を可能にするオンラインツールを使う。
 - 協働がうまくいくように基本規則の一覧を開発するべくチームと作業する。

- King Library の情報資源 (CLO#4 に対応)
 学生は King Library ウェブサイトを使い、以下のことを行う。
 - 契約しているデータベースを含んで図書館情報資源にアクセスする。
 - 情報学研究科の学生のための図書館オンライン個別指導 Library Online Tutorial for School of Information Students (LOTSS) を受講し、3つの確認問題を最低でもそれぞれ 70%の成績で修了することによって図書館データベース群の使い方についての理解を示す。
 - 剽窃についての個別指導を受講し終えることによって学問的誠実性に関連のある問題への理解を示す。

- アメリカ心理学会が定める論文の書式 (APA スタイル) (CLO#4 に対応)
 学生は以下のことを行う。

- APA スタイルマニュアル（第6版がこの科目では必要）を含めて APA スタイルを入手して活用する。
- 学術論文の参考文献を APA スタイルで適切に整える。
- iSchool の学生としての成果（CLO#4 に対応）
学生は以下のことを行う。
 - 学位プログラムがうまくいくように計画していくなかで、この科目で学んだ成果を応用する。
 - 学習成果の達成に役立つような学生のアドバイスや情報資源をみつけて利用する。
- MySJSU（CLO#4 に対応）
学生は以下のことを行う。
 - MySJSU で重要な課題の参考となるものをどこで見つけるべきか確認する。
 - メールアドレスを更新する。

単位取得：

この合否判定の科目（CR/NC）はすべての入学生が必修である。単位を取得するために以下のことが求められる。

- ・能力の証明（すべてのモジュールの課題を含む）を必要とする科目内容に記載されているすべての活動はきちんと完了させなければならない。
- ・すべてのリーディングとディスカッションの項目はきちんと完了させなければならない：評価基準は各課題の採点ルーブリックに掲載されている。
- ・すべての課題と活動は9月20日までに完成させなければならない。

期待されること：

この科目で学ぶ学生は以下に記載されているような本学のテクノロジーの必要条件に触れなければならない。

- ・家庭でのコンピュータ環境
<http://ischool.sjsu.edu/current-students/technology-support/home-computing-environment>
- ・アプリケーションソフトウェア
<http://ischool.sjsu.edu/current-students/technology-support/home-computing-environment/application-software>
- ・ウイルス対策やスパイウェア対策
<http://ischool.sjsu.edu/current-students/technology-support/home-computing-environment/antivirus-and-anti-spyware-software>
- ・テクノロジーリテラシーにかかわる必要な力
<http://ischool.sjsu.edu/prospective-students/admissions/technology-literacy-requirements>

科目連絡

この科目の教員、メンターは24時間以内にメールやディスカッションの質問に返答する。

課題は提出から 72 時間以内にフィードバックを添えて返却される。

ディスカッションフォームでのやりとりは INFO 203 ディスカッションフォームでのガイドライン

(http://ischool.sjsu.edu/courses/203/lms/discussion_forum_guidelines.docx) に従う。

読書課題

必要な教科書に加えて (このページの下 の Text セクションを参照)、以下のオンラインでの課題図書を含む：

- ・ LOTSS：情報学研究科の学生のためのオンライン個別指導
<http://tutorials.sjlibrary.org/guides/tutorial/lotss-module-1> から入手する。
- ・ 剽窃—大学院レベル <http://library.sjsu.edu/video/plagiarism-graduate-level> から入手する。
- ・ Canvas 学生個別指導 <http://ischoolapps.sjsu.edu/canvas/student/> から入手する。
- ・ 協働学習のための学生ガイド
<http://ischool.sjsu.edu/current-students/technology-support/blackboard-collaborate/blackboard-collaborate-web-conferencing> から入手する。
- ・ 本科目の追加資料は Canvas サイトに投稿される。

科目の学習量に対して期待されること

本科目の修了については、学生が、インターンシップ、実験、臨床的な実習を含むがそれらに限定されない指導や準備学習または科目に関連する活動のために、ひとつの科目を通して最低 45 時間を費やす (一般的に 1 単位週に 3 時間、うち 1 時間を講義にあてる) という大学の規定に基づいている。他の科目の方針はシラバスに記載されているように同等の学習量を求める。

指導時間としては以下を含むがこれらには限定されない：

教員が用意したモジュールもしくは課題；教員と/または他の学生とのディスカッションの場でのやりとり；プレゼンテーションの作成と教員からのフィードバックを受けること；オフィスアワーの時間に訪問するか、教員との同期型の面談をすること

授業外で学生が学ぶ時間：

どの 7 日間でも、学生は、大学の課題を提出することで学術的な活動をすることが期待される。試験や対話式の個別指導またはコンピュータ支援教育を受けること、ウェブサイト、ブログ、データベース、ソーシャルメディア・プレゼンテーションを作成すること、学習グループに参加すること、大学のオンラインディスカッションに貢献すること、レポートを書くこと、論文を読むこと、調査を行うこと、小さなグループワークに参加することも同様である。

科目の履修要件

INFO 203 ではなし。

学習の成果

この科目の成果としては、学生は以下のことができるようになる：

1. 一緒に学ぶ学生と協働するために適切なソーシャルネットワーキングソフトウェアを利用することができる。
2. 学習していることを整理するために学習管理システムを利用することができる。
3. 一緒に学ぶ学生と同期型に学習するために web 会議の道具を使うことができる。
4. オンラインの環境を介しての学習を確実にするためにさまざまな手段や戦略を使うことができる。

中心となる能力

INFO203 は以下の中心となる能力に対応している：

- H 新しく現れてきている情報通信技術を確認し、利用し、評価する能力があることを証明する。
- M 協働学習やプレゼンテーションを含んで専門職として働くことに必要な口述と記述でのコミュニケーションスキルを証明する。

教科書

指定教科書

- ・ American Psychological Association (2009). Publication Manual of the American Psychological Association (6th ed.) Chicago: American Psychological Association. Amazon から購入可能: 1433805618.

成績

合否判定の科目 (CR/NC) である。重大な病気または家庭の事情 (に加えて正式な書類) がある場合のみ未修了となる。

大学の方針

大学規範 University Policy S16-9 により、学問的誠実性、学籍や成績関連の総務などのすべての科目に関する全大学の方針文書は、学部・修士プログラムのシラバス情報のウェブページ (<http://www.sjsu.edu/gup/syllabusinfo/>) で公開されている。

科目内で成績関連の総務を依頼するためには、教育センターに連絡し、MyAEC を介して登録してください。

“iSchool の教員は研究と実践においてリーダーやイノベーターとして認められています。”